

4R運動でごみを減らしましょう

ごみを減らすためには、私たち一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。リサイクルは最後の手段とし、できるだけリサイクル以外の「R」を優先することが重要です。一度、普段の生活を振り返って、ごみを減らす4R運動に取り組みましょう。

取り組もう!! 4Rとは

Refuse (リフューズ)

ごみになるものを買わない、断ること。

Reduce (リデュース)

ごみの量を減らすこと。

Reuse (リユース)

使ったものを廃棄せず、そのまま使うこと。

Recycle (リサイクル)

使ったものを廃棄せずに再利用すること。

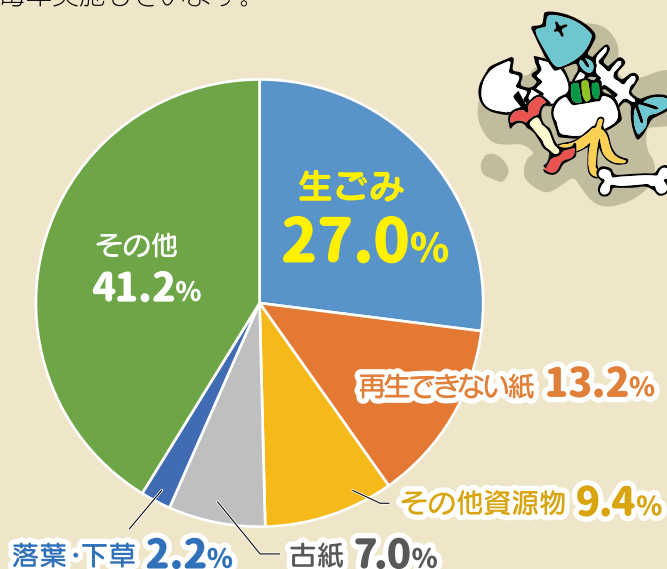
ごみを減らすため、4R運動(リサイクル以外の3Rを優先して)に取り組みましょう。できることから日頃の生活で実践しましょう。

昨年度は市民1人当たり**14,647円**ものごみ処理経費がかかっています。
みんなでごみを減らしましょう。

今年もごみの内容を調べました

燃やせるごみの組成分析(※1)を平成28年3月29日(火)に狛江市ビン・缶リサイクルセンターで実施しました。組成分析は、ごみの排出実態を知ること、今後の取り組みの参考とするために市民の皆さんに参加していただき毎年実施しています。

※1 出されたごみを種別ごとに手作業で分別すること



組成分析の結果、燃やせるごみの中に、多くの期限切れの食材や資源物が混入していることが判明しました。買い物の前に冷蔵庫の中を確認することで食品ロスを減らせます。また、生ごみは水分を切ることでごみ減量となります。